



キャリアセンターの就職活動支援について

2016年度の就職状況は、企業の採用意欲の高まりに比例し、求人倍率1.74の売り手市場となりました。就職を希望する学生の中には複数内定をとり、早めに就職活動を終えた方も例年に比べ多かったように思えます。これは、大手企業が6月から採用活動を開始する前に、早めに内定を出す中堅・中小企業の動きが、今年度は顕著であったことが関係していると思われます。一方で、就職活動が長期化したケースも一定数見られ、二極化が一層進んでいることは否めません。

就職活動を行うにあたっては、早めにしっかりと準備をすることが何より大切であることは言うまでもありません。しかしほとんどの学生にとって、就活は人生で初めて経験をするからですから何から手を付けてよいのかわからないのが、現状ではないでしょうか。

以下は一般的な就職活動の流れです。



キャリアセンターでは年間を通して就職活動を支援する様々なプログラムを行っております。2016年度は、以下のラインナップで実施いたしました。

1年次生から参加できるものも!

■ 大学

- 6月 「就職活動入門」
- 10月 「業界研究～エントリーシートも書きやすい! 2者を比較する業界研究とは?」
- 11月 「企業分析の方法」
- 1月 「プロが教える成功するための就活ポイント解説講座」

■ 短期大学

- 10月 「就職活動全体の流れ・業界研究」
- 11月 「自己分析(業界研究を経て)」
- 1月 「就活マナーとディスカッション」

就職ガイダンス

主な講座・セミナー

- 10月・1月 Web試験対策模擬テスト(解説付き)
- 8月・2月 エアライン講座
- 10月～3月 公務員試験対策講座
- 10月～12月 就職筆記試験対策講座(全6回)
- 12月 航空、旅行、ホテル業界OB・OGとの交流会
- 1月 履歴書・エントリーシート対策講座(STEP 1)
- 履歴書・エントリーシート対策講座(STEP 2)
- 面接試験対策講座
- ものづくり企業見学会
- 2月 履歴書・エントリーシート対策講座(STEP 3)
- グループディスカッション対策講座
- 就活写真撮影会
- 女子学生対象就職ガイダンス
- 就活メイク講座
- 就活マナー講座

大部分の講座については、後援会からの予算援助を得て開催しているプログラムで、多くの学生が無料で受講をさせていただきました。就活写真撮影会でも、写真代金の一部を補助していただき、安価で高品質な履歴書用写真を提供することができました。また、例年開催している航空、旅行、ホテル業界以外にも、今年度は様々な業界で働く4名の若手OB・OGをお招きし、講演会や交流会を開催しました。さらに、ものづくり企業の見学会を初めて実施するなど、学生の就職活動には後援会からの支援が必要不可欠であると考えます。

今後とも、学生の就職活動に対してよろしくご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(キャリア支援課長 給田 佳名子)

インターンシッププログラム 参加者の声

ROOK留学センター



英米語学科
3年次生
久保田 佳奈

私にとって、トロントでの研修は、現実の自分と向き合うための貴重な時間でした。現地では、これからの人生を歩んでいくうえで生かすべき自分の軸や、身に付けていくべきものは何なのかを考えながら過ごしたのが、鮮明に記憶に残っています。トロントで活躍する社会人の方々と、語学学校へ通う留学生へのインタビューでは、自分の持っている粹から抜け出し、新しい世界を受け入れる勇気や、失敗する勇気を持てば、柔軟な思考や広い視野を持つことができることを学びました。その後の大学生活では、非言語コミュニケーション論を中心におき、あらゆる教養分野を積極的に学んでいます。物事の考え方や繋がりを意識し、広く学び取るようにしています。また、現在は就職活動の真っ最中です。私の働くキーワードは“お酒×人とのつながり”です。お酒を通して本音で語らう場が生まれることや、お酒を通して人々を繋ぐ場を作ることに魅力を感じています。そして、いわゆる飲みニケーションが、本音と建前が強い日本人文化の中で大きな存在の1つであることに面白味と誇りを感じています。そのため私はお酒を通して人を豊かにする仕事に携わりたいと考えております。

野村證券株式会社



英米語学科
4年次生
羽倉 建仁

私はインターンシップを通して着実に成長を遂げました。金融業界の証券会社での実習でしたが、座学を中心に金融や証券業界の仕事の理解を深めました。また、他大学の学生と課題に対してグループ討議を行い、プレゼンテーションを行いました。実習の日課である新聞の読み合わせに始まり、金融について講義を受けることは、私にとって新しい知識の吸収となる貴重な経験でした。分からないことが多く、ついていくことに必死でしたが、そういう時こそ謙虚な姿勢で毎日勉強し、成長を求め続けました。自分の理解が深まっていくその成長が楽しかったからこそ、その後私は証券会社に就職を決めました。金融業界は日本の経済社会の中核です。その一員として活躍するため、常に謙虚に、前向きなモチベーションを保ちこれからも成長していきます。

世界に飛び出せ！ 京都外大生の留学体験

多くの京都外大生が世界に飛び出し、
留学先でさまざまな経験をしながら学んでいます。
学生本人や保証人が投稿してくれた体験談を元に書き起こし
留学の様子をレポートします。

カナダ マニトバ大学

英米語学科4年次生 地本 愛さん
派遣留学 (2015年2月～12月)

<学生本人から>

私は語学学校で6カ月間の英語学習の後にマニトバ大学で授業を受けました。クラスメイトは国籍に関係なくペアを組んだり、パーティを開いたり、ゲームをしたりして仲良く過ごしていました。そのため、英語に向き合い続けた1年となりました。留学先のウィニペグの交通は便利ではないけれど、人が親切でWi-Fiの設備がどこにでもありました。危ない目に合うこともなく、生活に不安はありませんでした。ホームステイ先はまさに理想の家族でした。お父さんは料理が上手、ホストシスターは面白くよくお話してくれて、お母さんはいつも本当の母親のように接してくれました。また、同じストリートに住んでいたクラスメイトのホストファミリーの方がよくお食事に呼んでくださいました。ウィニペグの夏は暑くて、冬はマイナス30℃にもなり住みにくそうな町ですが、冬には古い建物やすべてを覆いつくしてしまう真白なパウダースノーが本当にキレイでした。あったかいアウターは必ず要ります。室内は温かいので半袖なども一応必要です。乾燥もするので、静電気対策のアクセサリも持っていけば良かったと思いました。移民の方が多い町で安心はしましたが、相手を理解すること、特に宗教への理解などが大切なことだと気づきました。色々な国の方々とお友達になることができるステキな所でした。



イタリア ナポリ東洋大学

イタリア語学科4年次生 汲田 志穂さん
派遣留学 (2015年9月～2016年7月)

<保証人から>

留学に出発する前は現地の生活や治安が不安でした。現地に到着したのが午後10時過ぎでしたが、現地のチューターさんが宿舎の世話なども色々とお世話してくださり、本当に助かりました。本人との連絡は、今まで使用していた携帯電話は解約し、SIMフリーを持参しました。基本的にLINEの無料通話を利用しましたが、現地の生活に慣れ、友人も出来ると2～3週間に一度くらいしか通話しないようになりました。大きなトラブルとしては、置き引きでバッグを盗まれたということがありました。現地の友人のお父さんの協力を得て警察に被害届を出しましたが、財布、携帯電話、電子辞書などを盗まれてしまいました。ただパスポートやクレジットカードなどはその際持ち歩いておらず無事でした。留学させて思ったことは、やはり語学のレベルが格段に上がったことです。私も本人が留学中イタリアに2回旅行し、ツアーなどではなかなか行けない場所を訪れることが出来ました。娘の語学力には感謝しています。



イギリス キール大学

英米語学科2年次生 片山 大輝さん
海外セミナー (2016年2月～3月)

<保証人から>

世界的にテロが発生していたことが心配で、メールと電話で連絡をよく取り合っていました。ホームステイ先の皆さんがよくしてくれ、色々なところに連れて行ってくれたと逐一報告があり安心できました。外国語への興味が深まり勉強が進むようになったと感じます。

<学生本人から>

授業時間は一日平均6時間ぐらいでした。ホストマザーが大学で働いていたので車に乗せてもらい通学しました。大学構内はとても広く自然がキレイでした。平日の昼食は大学でバディ(留学先でできた親友)ととったりしながらゆっくりと過ごせました。食事は基本、平日のお昼は大学の食堂でとり、朝食、夕食はホストファミリーが作ってくれました。イギリスは私が想像していた通りとてもおしゃれで、歴史的建造物の多い国でした。歴史を大切にしている国だと感じました。



ドイツ ドレスデン工科大学

ドイツ語学科4年次生 赤池 祐菜さん
派遣留学 (2015年9月～2016年2月)

<保証人から>

留学前は、現地での食事、安全面、病気などで医療を必要とした時のことを心配しました。留学中の連絡は、毎日LINEで本人とやりとりをしていました。何もなくても1日1回はとりあえずスタンプでもいいから返信をするように言っていました。留学中のトラブルとしては、盗難事件に遭ったこと。ただし京都外大からいっしょに留学していた友人たちにも色々とお助けしてもらったようで、本人も安心だったとのことでした。留学期間中にユーロ圏内の各地を旅行し、これもいい経験になったようです。様々な国の人たちと交流し、ひと回り大きくなったような気がします。帰国後は少しだけ立派に見えました。



カナダ ゲルフ大学

英米語学科4年次生 渡部 美琴さん
派遣留学 (2016年2月～8月)

<保証人から>

出発前は、ホストファミリーはどんな方が、現地の治安や安全面、医療体制が心配で不安でした。LINEで連絡を取り合っていました。こんなに簡単に取り合えるんだというのが正直な感想でした。ただ、時差があり、慣れるまで気を遣いました。ロッキー山脈やニューヨークに小旅行に行きたいので、交通費等を送ってきてほしいと連絡してきました。留学して良かった事は、リスニング力が伸びたことです。留学体験が今後の本人の人生に良い影響を与えてくれることを願っています。日本からの留学生が相当数いて、日本にいるのと変わらないという状況に陥りやすいそうです。娘は、友達に「休み時間も英語で話そうよ」と提案したところ同調してくれる仲間も一部いて、その輪が次第に広がったと話していました。そのような工夫や努力が大事なポイントかもしれないと感じました。



通訳ボランティアを育成する 全国外大連携プログラムが開催されました

関西外国語大学

京都外国語大学

東京外国語大学

名古屋外国語大学

神田外国語大学

神戸市外国語大学

長崎外国語大学

2/15~18
Wed. Sat.



2月15日(水)～2月18日(土)、全国の外大生180人が本学に集まり「第4回 通訳ボランティア育成セミナー～世界スポーツ・国際イベントに向けて～」が開催されました。このセミナーは文部科学省や外務省などが後援し、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会が協力して行われているものです。

日本では2019年ラグビーワールドカップを皮切りに、2020年東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西と国際的なスポーツ大会が続けて開催されます。大会を成功させるためには、多言語を通じてコミュニケーションを図る人材が不可欠で、その育成セミナーが本学で開催されました。

プログラムは講義とフィールドワークが中心で、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長の森喜朗氏も講演してくださいました。フィールドワークでは、京都マラソン事前の受付ボランティアやグループに分かれての観光ガイド実践が行われたほか、希望者は京都マラソン当日にボランティアとして参加することもできました。観光ガイド実践は、各自が外国の方を見つけ、話しかけるとい、とても勇気のいるもので、悪戦苦闘していました。

参加した学生からは、「自ら話しかけるのは勇気がいったけど、良い経験ができた」などの感想が聞かれました。

(広報部会 吉川 和信・中塚 靖彦)



京都マラソン受付



リブレでの様子

会計部会の活動報告

会計部会では、保証人の皆様からお預かりしている大切な後援会費に関する会議を年間2～3回行っております。

会計と聞くと難しいイメージを持たれますが、実際には後援会費を自分たちの息子や娘たちにより良い形でサポートし、学生生活に役立てるかを協議し、また、大学側とも予算を通して話し合いする、大変有意義な活動です。

今後も会計部会の活動を充実させ、子どもたちのサポートをしてまいります。是非、お気軽にご参加ご協力ください。お待ちしております。

(後援会 安達 章)



後援会
では

年2回、全額助成します!!

お子様の留学・就職等のキャリアアップに、ぜひご利用ください。

助成を受けるには、所定の手続きが必要となっていますので、**申請方法、申請期間、支給方法**については、**助成金に関するホームページ** (http://www.kufs.ac.jp/faculties/sub_proficiencyexam.html) にて確認してください。

※英米語学科1・2年次生については、学科が行うTOEIC IPテストに助成1回分を充当します。



【問い合わせ先】
教務部分室
TEL.(075)322-6764
場所/8号館1階



外大生なら
ゼッタイ
受けなきゃ損!

助成の対象となる語学検定試験

■ 英語

- ① TOEIC ※領収証がない場合は 4,645円
- ② TOEFL iBT ※一律 25,530円
- ③ 実用英語技能検定
- ④ 国際連合公用語英語検定試験
- ⑤ IELTS
- ⑥ IELTS for UKVI ※一律 25,530円

■ スペイン語

- ⑦ スペイン語技能検定
- ⑧ DELE (スペイン文部省認定証)

■ フランス語

- ⑨ 実用フランス語技能検定試験
- ⑩ TCF (フランス語学力テスト)
- ⑪ TEF (フランス語能力認定試験)
- ⑫ DELF/DALF (フランス国民教育省・フランス語資格試験)

■ ドイツ語

- ⑬ ドイツ語技能検定試験
- ⑭ ゲーテ・インスティテュートのドイツ語検定試験

■ ブラジル・ポルトガル語

- ⑮ 外国語としてのポルトガル語検定試験 (旧: 国際ポルトガル語検定試験)
- ⑯ ブラジル教育省外国人のためのポルトガル語検定試験

■ 中国語

- ⑰ HSK (筆記・口頭)
- ⑱ 実用中国語技能検定試験
- ⑲ 中国語検定試験

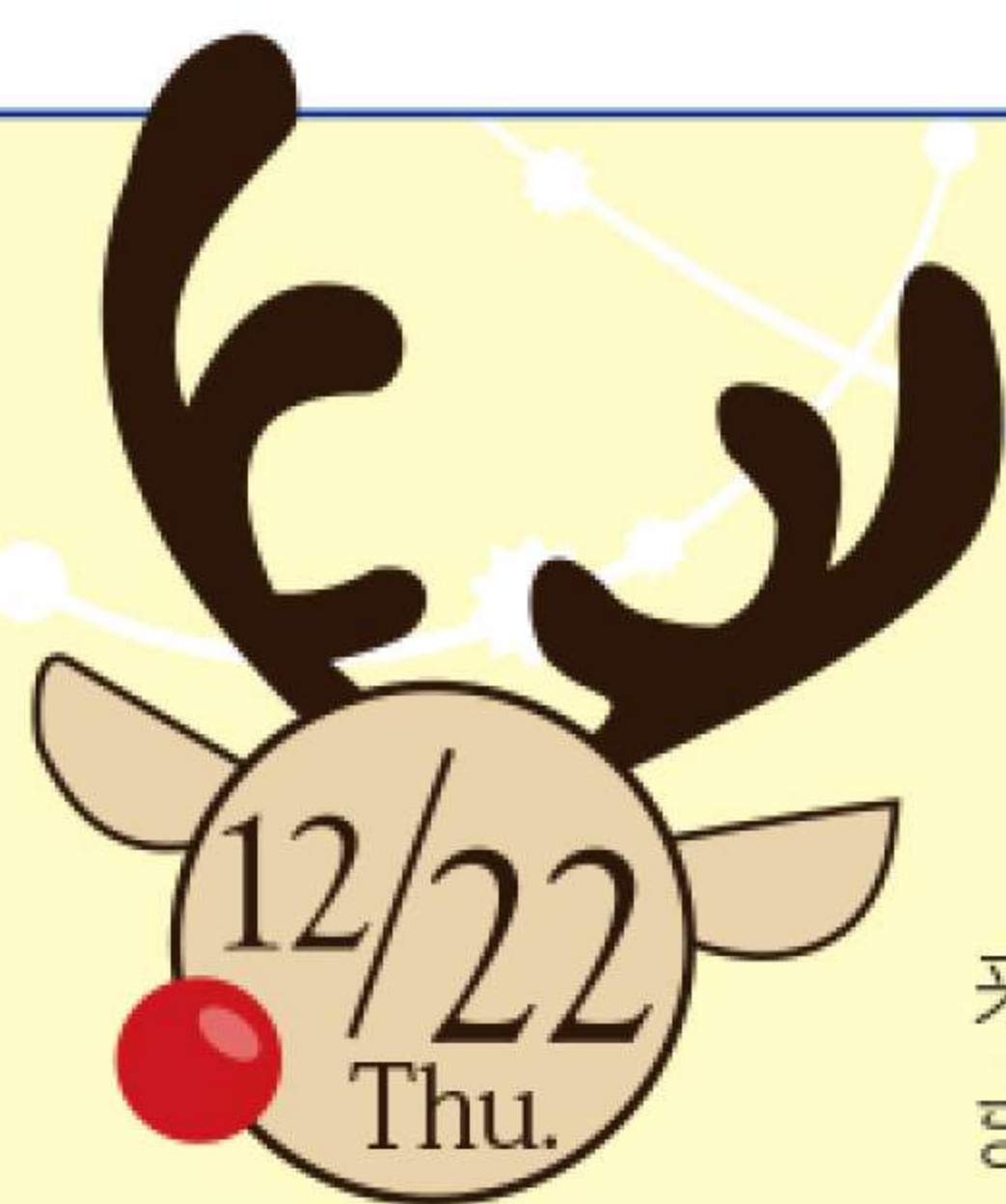
■ 日本語

- ⑳ 日本語教育能力検定試験
- ㉑ 日本漢字能力検定

■ イタリア語

- ㉒ 実用イタリア語検定
- ㉓ CILS

語学検定試験受験料を全額助成しています。



UNIONとPSC合同主催

クリスマスパーティー

12月22日、UNIONとPSC合同主催によるクリスマスを通じて、様々な国から来る留学生と会話し国際交流を図ることを目的としたパーティーが開催されました。BGMも落ち着いた感じのクリスマスソングが流れ、参加者は各々の言語で交流を楽しんでいました。

(広報部会 出岡 直喜)



目標高く活動しています！

京都外大には53団体のクラブがあり、サークル等を含めるとその数は70団体を超えています。今回はその中から、能楽部とフルコンタクトカラテ部を紹介します。

後援会では、部活動を奨励金でサポート！



【能楽部】

部長 村上 円香
日本語学科 3年次生

こんにちは、能楽部です！いつも能楽部の活動にご支援いただき誠にありがとうございます。私たちは、毎週月・水・金曜日の17時から19時まで楽しく時には厳しく、練習に励んでおります。私たちの主な舞台発表は、京都学生能楽部連盟に加盟している他大学の学生たちと協力して行われる「翡翠の会」、12月に行われる「外大能」の二つです。外大能は、私たちの一年の集大成でもあり、この日に向けて夏休みから猛練習に励みます。この他にも、六月祭や外大祭のステージ発表にも出演させていただいております。いずれも無料で見るができますので、是非見に来てください。これからも更なる発展のため精進してまいりますので、ご声援のほどよろしくお願いいたします。



【フルコンタクトカラテ部】

主将 中野 恵輔
ブラジルポルトガル語学科 4年次生

平素は私どもフルコンタクトカラテ部の活動にご支援いただき、誠にありがとうございます。今後もどのような形でありましても絶え間ない練習と努力を重ねていく所存であります。現在は月曜日と水曜日と金曜日に練習をしております。

現在部員は5人と少ないのですが、自分たちで各々の課題を決めて稽古に励んでいます。現在の我々の課題は仲間を多く集め、充実した稽古をすることにあります。近年、フルコンタクトカラテ部の部員は減少していますが、練習の形式を変えながら、試合では苦痛を乗り越え勝利することの喜びを仲間と分かち合うために頑張っています。我々は空手は自らの痛みを知って、相手の痛みを知ること、そして『勝つ』ということの喜びを教えてくれるものだと思いますので、これからも誠心誠意日々精進して参ります。

編集後記



広報部会
田村 裕子

中国語学科の長男が4年次になる春に、今度はフランス語学科に3男が入学しました。長男卒業の春、そのまま役員を続けることを決意したあの時点では、先がとてつもなく長く感じられたのに、あっという間にここ迄来ました。息子一人分の4年間など、それよりも短い期間ですが、息子たちは随分と成長したように見えます。この大学の期間がなかったなら、彼らは自分とじっくり向き合うこともなく大人になり、若い頃にもっと考えていたら…となっていたかもしれません。大学というところは、その存在の意味を学生たち自身が考えて、どんな風にもつくることの出来るものなのだなあと、7年間役員をしていて気づきました。保証人の皆さまも、長いように思えて短かったその期間の最後には、確かに成長した我が子の姿にはっとされることでしょう。役員期間ばかり長くて至らなかった私ですが、皆さまに温かく支えられて無事に卒業することができます。ありがとうございました。

Please contact to us

Please e-mail

投稿やご意見はこちらまで。
スペースの都合上、掲載できない場合もございます。ご了承ください。

kyotogaidai-commit
@hotmail.co.jp